

北の鉄道風景

Train number; 9044D

2022.10.16 9:07

1/1000, f/7.1, ISO 200, f=27mm, Daylight/Sunny

8256×5504 Raw

第135回

孫との旅談義

孫は旅というものを大変な苦行だ
と思っているらしい。暑い寒いは無論
のこと、飯さえろくに食べられず、疲
れてもせいぜい草の上に腰を下ろすし
かない、宿に辿り着いても、翌朝の起
床は五時などというのを旅と思ってい
るフシがある。

そのせいか「なんとかランド」に飛
行機で行って、きれいなホテルに泊
まり、美味しいものを食べて来ても、
「なんとかランドの旅」とは言わず、
「行ってきた」としか言わない。

その様子を見て、私は大変満足する。
そう、旅という言葉を気安く使っても
らっちゃ困る。

「旅って大変なんですよ」

「んー、大変だけど、それが吹き飛ぶ
ほどの何かに出会えるかも知れない。

その何か、がわからないところもいい」

「わからないけど行くの？」

「それだ。『何か』が起きそうだから
行く」

「じゃあ、目的地があつて、予定立てて、
好きなことをしてくるだけじゃ旅じゃ



釧網本線との初めての出会いはオホーツク海を渡ってきた冷たい雨粒が吹き付ける晩秋
だった。それは私が描いていたイメージ通りであったが、写真としては十分な表現ができな
かった。1973



写真と文＝眞船直樹

ないっていうこと？」

「大概その『何か』というやつは、目的外のもので、そのせいで予定が狂ったりもする……でも、一度そういう目に遭うと予測不能な『何か』を期待して、他人から見たら辛そうなことをする。ところが実は幸せでワクワクしてる」と自分に言い聞かせるように私は呟く。「家にいてもスマホでワクワクできんじゃない」

「それって本物のワクワクか？ スマホの世界は本物とは別物だよ。むしろスマホはウソだと思ったほうがいい」「デフォルトでウソね！ わかった！」

孫が自分で結論を出し、「もっと大きくなったら旅に付き合うわ」の一言を追加して走り去った部屋で私はしばし考えた。ウェブの世界のみならず、周りを見回せば、ウソが当たり前になってしまった。旅にしたって大自然満喫の旅、グルメの旅、何々巡りの旅などという言葉が溢れ、SNS上には現地証明の「映え写真」が氾濫しているのだが、それって本当の旅なのか。大事なものはその先だ。そこで何を感じ、どう考え、どんな事になったかだろう。なかでも予想外が一番面白いのになあ。